

平成２８年度 第３回 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 議事要旨

平成２９年２月７日（火）

１３：３０～１５：３０

大垣市役所 ３階 合同委員会室

出席者：１２名 欠席者：６名

- １ 福祉部長あいさつ
- ２ 平成２８年度大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 各部会の開催報告（事務局）
→別紙資料１による
- ３ 大垣市第三次障害者計画（案）について（事務局）
→別紙資料２～４による
- ４ 障害者差別解消法に関する取組状況について（事務局）
→別紙資料５による
- ５ 意見交換
 - ・スマイルブックの配布数や活用状況について。
→平成２２年度から配布。何かしらの支援が必要と思われるお子さんに対し、保護者の同意の上で渡している。お子さんが園や学校で生活していく際に必要な支援などについて記載されている。発行総数は約１，７００冊。
 - ・スマイルブックの情報が多すぎるため、必要な情報が伝わりにくいのではないか。
→平成２９年度から使用するものについては、できるだけ必要と思われるものを残せるように改訂した。
 - ・放課後等デイサービスにおけるスマイルブックの活用について。
→個人情報に記載されているので、市から積極的に情報を提供することはないが、保護者の方でサービスを利用する際に、お子さんの特性ということで提示している可能性はある。次年度の部会では放課後等デイサービス事業所の方をお呼びして、スマイルブックの活用についてお伝えすることも検討している。

- ・相談支援専門員の質の向上や困難ケースに対する対応について。
→県主催の協議会・研修会に積極的に出席いただくとともに、引き続き各部会においても、困難ケースに対する事例検討を行っていきたい。
- ・大垣市における障がい者虐待の相談件数について。
→平成27年度の相談件数は7件、平成28年度は現時点で3件の相談があった。
また、社会福祉協議会に成年後見センターが設置されており、成年後見に関するあらゆる相談に応じる機関として周知していく。
- ・作業所での賃金が低すぎて利用者のモチベーションが上がらない
→賃金とは別に、利用者の努力に対する報奨金のような仕組みがあるとよいのではないか。就労支援部会にて、工賃のあり方とか、独自の仕組みなどについて情報を紹介できるような機会を検討したい。
- ・第三次障害者計画（案）における施策番号11「生活の場の確保」に対する市の考え方について。
→入所施設の利用者で地域移行が可能な方についてはグループホームへの移行を推進し、より障がいの重い方に入所施設を利用していただく。また、地域住民の理解が得られやすいように、障がいのある人や、グループホームに対する理解促進に努める。
- ・重度の障がい者が利用できるグループホームの整備を検討してほしい。
- ・合理的配慮について、障がいのある方が求めなくても配慮していただけるような対応をお願いしたい。
→障がいの特性や必要な配慮について理解していただいたうえで、「さりげない配慮」ができるよう職員研修や障がい者サポーター研修などにおいて周知していく。